

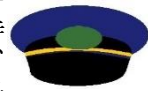
お ず な



新浦安
分会
No.43

2022・
8・8

発行責任者
坂本暢雄
編集・教宣



一に着帽、二に着帽……

一時、鳴りを潜めていた感のある改札での着帽強要がまた顕著化してきました。J E S S 全社員を対象にした集合研修の部外講師も「帽子を被る。たったそれだけのことが」とか「屋内での着帽はマナー違反とかの言い訳を」と口にしますが改札内で帽子を被る理由を明らかにしなかったのは会社の方です。後付的に最近言い始めたのは「帽子を被っていると社員である



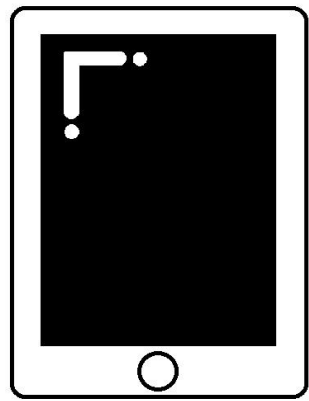
ことを利用者が認識しやすい」と言うことですが改札内で私服ではなく制服の社員を見て部外者と思うでしょうか？ 以前は浅く被らずに・・・でしたがコロナの影響によりマスクが必須になると表情が見えづらいため少し上に上げてと猛暑であろうが無かるうが社員の健康のために屋内での着帽省略と言う選択をしようとはしません。

部外の調査員によりサービス診断が行われますが窓口で帽子を被らないだけで4点の減点です。他のチェック項目は1項目につき1点なのに帽子だけが4点です。つまり帽子さえ被っていれば他に3項目の減点があっても被っていない社員より

プラスになると言うことで。出札窓口を次々と閉鎖し改札窓口はカーテンで締めても帽子さえ被っていればサービスになるような施策を利用者が望んでいるとはとても思えません。エルダー出向の際にはJRの人事担当と事前に面談が

スマートイーエックス……

JR東海のネット予約である「スマートex」がJR東日本でも東京都区内の駅に限って取り扱いができるようになりました。JRは「ICカード、スマホなどで改札をタッチして新幹線に・・・」とアピールしていますが「手元に紙の乗車券や特急券を置きたい派」も根強くいます。そういった方々は来駅し自分で券売機を操作することになります



ありますが、半分以上の時間を着帽について時間が割かれたとの報告があります。この先、どのような職種・職場でこれからも働こうかと言う大事な面談の場で現在の出向先の施策に時間をかける必要がどこにあるのか？「J E S S の施策はこうなのに」と言いたいようで結局のところJRとJ E S S は表裏一体であることを自ら明らかにしています。

案内などできるわけがありません。何かあると「こういう場合はこうしましょう」と後出しジャンケン的に情報を発信してきますが必要なのは事前の教育です。J E S S は余計なことではないのがモットーのようですが、教育は余計な事では無いはずですが。

当面する日程

◆拡大分会長会議
8月27日

地本会議室

◆非番者集会
9月6日

地本会議室

◆第76回定期地方大会
9月23日千葉県
教育会館

千葉地本

HP開設

